

症例 5 7ヶ月男児

主訴：右下腿の腫脹、疼痛、熱感

現病歴：

- 右下肢痛と腫脹があり、近医受診。WBC13900/ml CRP6.3

蜂窩織炎の診断で抗菌薬投与されたが改善なし。別の病院を紹介され、MRI施行後右下腿骨髄炎の診断で抗菌薬の内容を変更して加療。

炎症所見やや改善したが局所所見は横ばいであった。

- 約1ヶ月後、右下肢の腫脹悪化し、当院紹介され入院。前医ではMRIの他に全身骨撮影が行われ、右下腿骨の他にも異常を指摘されていた。

既往歴：周産期歴を含めて特記事項なし

現症：

- 活気あり 顔色良好 目線合う
- 右下腿の腫脹、わずかに発赤あり 同部位触診で泣く
- 右下腿以外の四肢は動き良好／発赤なし 股関節開排制限なし

入院時検査：

- 白血球数14400/ml、CRP 7

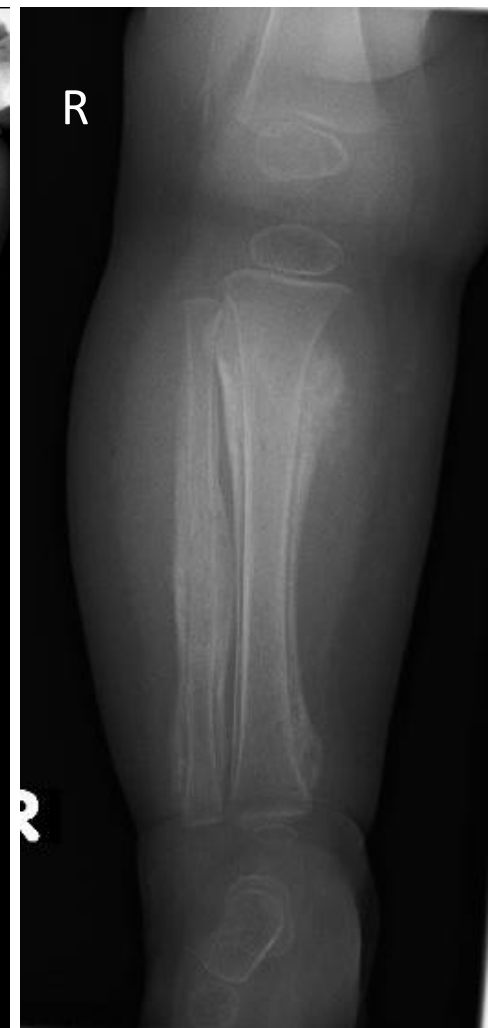
○月12日



○月28日



○+1月15日



○+1月22日 全身骨撮影

R



